



2025 年 3 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 バ ル ニ バ ー ビ
代表者名 代 表 取 締 役 佐 藤 裕 久
(コード番号：3418、東証グロース)
問合せ先 取締役 管理本部長 宮 下 大 輔
電話番号 06-4390-6544

名古屋市「中川運河再生計画」における新規出店のお知らせ

当社は、名古屋市および名古屋港管理組合が策定した「中川運河再生計画」において、新規出店を決定しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

当社がこのたび出店する中川運河は、かつて名古屋港と都心を結ぶ水運物流の要として、名古屋の経済・産業の発展を支えてきた歴史を持つ運河です。昭和 39 年に水運利用のピークを迎えましたが、貨物輸送の主流がトラックへと移行したことで、現在では 1 日に数隻の船が往来するのみとなっています。こうした背景のもと、名古屋市および名古屋港管理組合が策定した「中川運河再生計画」は、「交流・創造」「環境」「産業」「防災」の 4 つの再生方針を掲げ、概ね 20 年先を見据えた都市再生の一環として進められています。なかでも出店する堀止地区は、名古屋駅エリアの南端、中川運河エリアの北端に位置し、「キャナル・ゲート～世界に誇れる水辺空間～」として、都心部のにぎわいを運河へと誘導する役割が求められています。

これまで当社は、2017 年開業の名古屋市・名城公園「トナリノ」の開発・運営を通じ、公園と都市が融合した新たな賑わいの創出に貢献してまいりました。また、大阪・中之島エリアにおける水辺空間の活性化を担う飲食店舗の展開や、東京・蔵前エリアにおける河川沿いの飲食施設の開発・運営など、都市の自然資源と調和した飲食業態を展開し地域のにぎわい創出の実績とノウハウを積み重ねております。このたびの出店においても、これまでの知見を活かし、中川運河エリアにおける水辺空間の新たな価値創造と地域活性化に貢献してまいります。新店舗では、厳選した地元食材を活かした炭火焼ステーキやハンバーグ、旬の野菜のグリルなどを提供するカジュアルダイニングとして展開し、名古屋駅周辺からの人流を受け入れるゲートウェイとしての役割を果たすとともに、地域住民や周辺企業の利用を促進し、水辺の魅力を活かした持続的なにぎわいの創出を目指します。

1. 出店概要

店 舗 名 : 未定
業 態 : オールデイダイニング
所 在 地 : 愛知県名古屋市中川区運河町 中川運河堀止開発 C 区画
出店面積 : 1 階 約 247.70 m² 2 階 約 177.32 m²
出店時期 : 2026 年 6 月 (予定)
報告セグメント : レストラン事業

2. 今後の見通し

2025 年 7 月期の業績予想に変更はありません。

以上